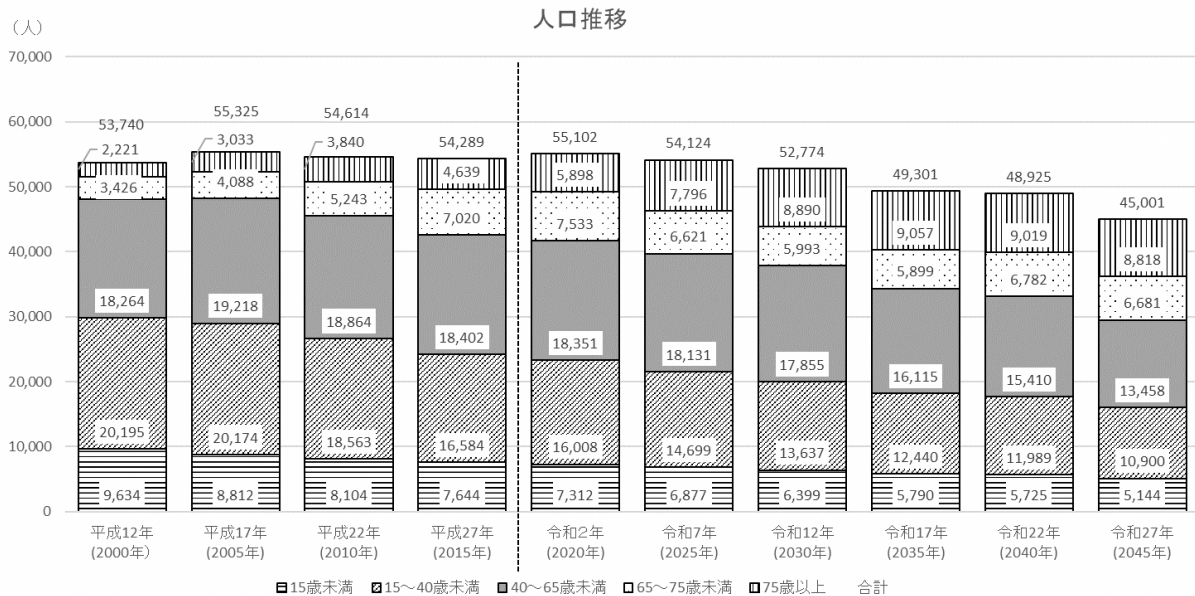


統計からみる市の現状(追加分)

(1) 人口の将来推移

国立社会保障・人口問題研究所による将来推計では、人口は、令和27年(2045年)には平成27年(2015年)から18%減少し45,001人になると見込まれています。

年少人口(15歳未満)および生産年齢人口(15~64歳)が、令和27年(2045年)には平成27年(2015年)からそれぞれ33%、30%減少する一方、老年人口は33%増加すると見込まれています。



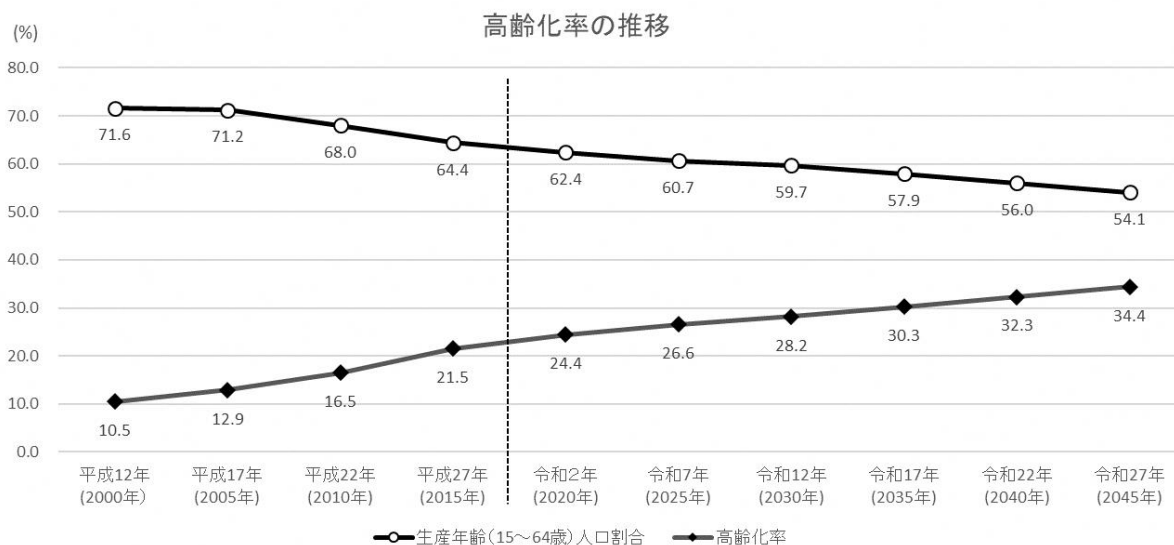
※平成12年(2000年)~平成27年(2015年)まで総務省「国勢調査」。

ただし、平成17年、平成22年、平成27年の年齢別区分内訳は年齢不詳分を按分しています。

※令和2年(202年)以降、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口(平成30年(2018年)推計)(各年10月1日時点)

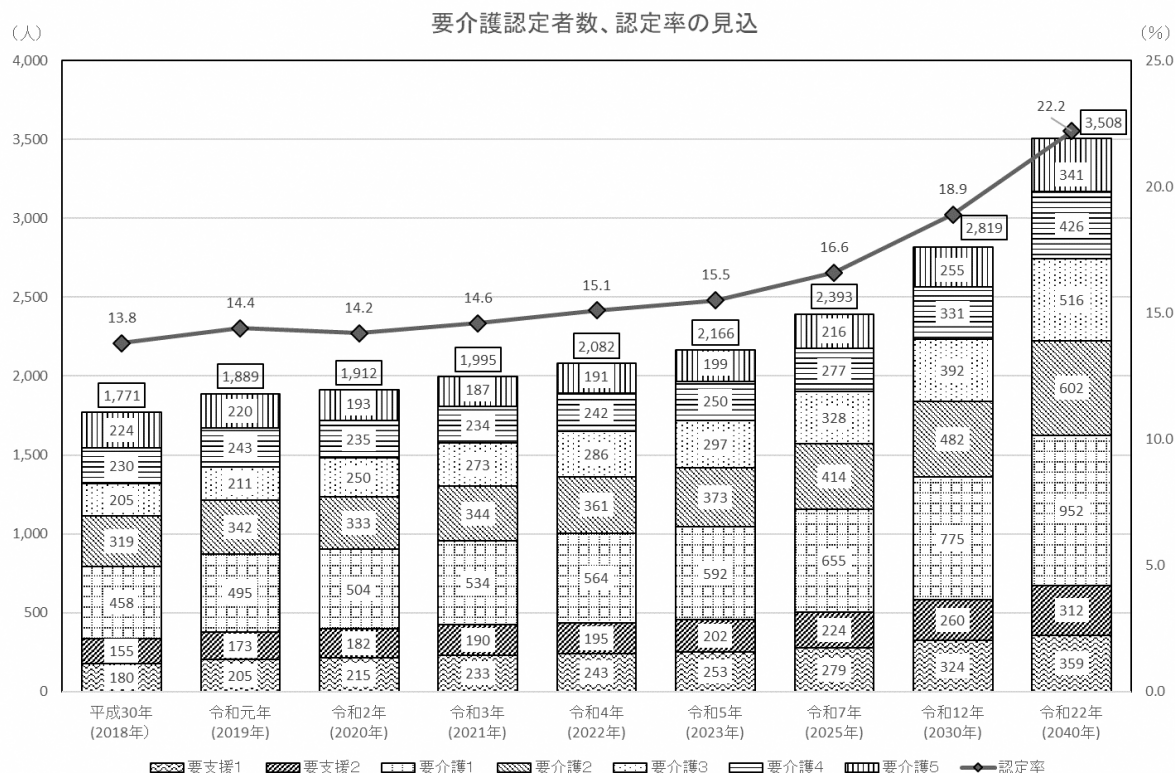
(2) 高齢化の推移

令和27年(2045年)には、高齢化率34.4%と3人に1人が高齢者になると見込まれています。



(3) 要介護認定者数・認定率の見込

要介護認定者数、要介護認定率ともに、今後も右肩上がりで推移し、令和22年(2040年)には高齢者の5人に1人が要介護認定者になると見込まれています。



(4) 令和2年国勢調査速報値

令和3年6月25日に公表された令和2年国勢調査の速報値によると、人口では、平成27年より203人増加し54,492人に、世帯数は、1,005世帯増加し22,291世帯となっています。

人口の増加数より世帯数の増加数が上回っていることから、単身世帯や少人数世帯の増加が見込まれます。

①人口

令和2年国勢調査			増減数(人)			増減率(%)			平成27年国勢調査		
総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
54,492	28,175	26,317	203	58	145	0.37	0.21	0.55	54,286	28,117	26,172

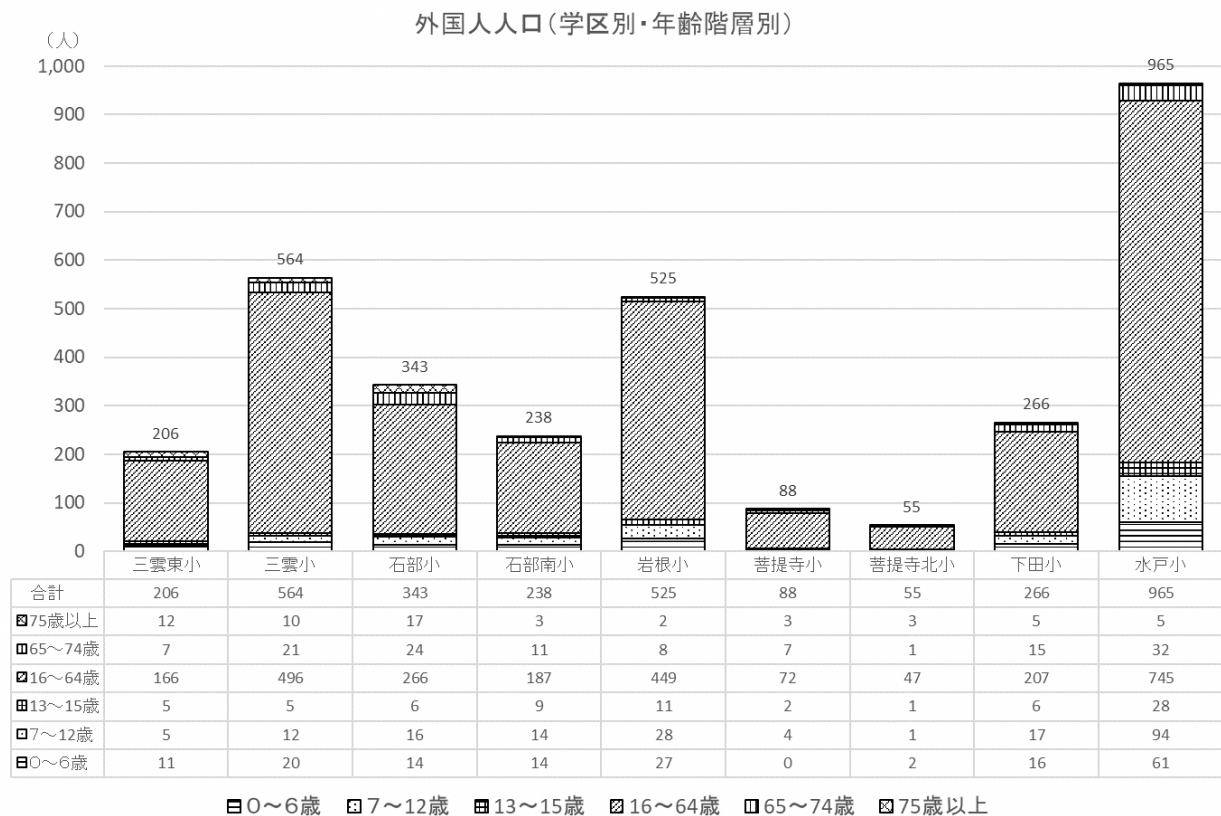
②世帯数

令和2年国勢調査	増減数(世帯)	増減率(%)	平成27年国勢調査	1世帯当たり人員(人)	
				令和2年	平成27年
22,291	1,005	4.72	21,286	2.44	2.55

(5) 外国人住民の状況（学区別・年齢階層別）

外国人住民の人口は学区によって大きな差が見られ、多い順に、水戸小学区が965人、三雲小学区が564人、次いで岩根小学校が525人となっています。一方、最も少ないのは、菩提寺北小学区55人、次いで菩提寺小学区が88人となっています。

市全体の年齢階層別人口は、0～6歳が165人、7～12歳が191人、13～15歳が73人、16～64歳が2,635人、65～74歳が126人、75歳以上が60人となっています。



令和3年6月1日現在